

第 3 回検討会の主な意見

第3回検討会の主な意見

- 第3回検討会での委員の主な意見は、以下のとおりである。

主な意見

- 広場などの公共空間の整備内容次第で、地域からの飛行場に対する印象が変わる。他の成功事例を参考とするなどし、ターミナル周辺の配置計画は更なる工夫の余地があるのではないかな。
- 施設配置については複数案を検討し、それぞれのメリット・デメリットを整理できると良いのではないかな。
- 周辺住民から、調布飛行場を「市民が楽しめる場所」としていくことへの期待の声が寄せられているとのことであるが、そのためにも市民参加型の仕掛けができると良い。
- 空港施設は迷惑施設の側面もある。利点と課題の両面がある施設として、周辺住民の理解や信頼を得るための取組を検討していくことが必要
- 調布飛行場整備方針に示した内容は現在にも通じるものである。大きな視点で「新しい市街地型飛行場」としての将来の施設整備の姿について、コンセプトや実現に向けたロードマップをもう一段階具体化できるとよい。
- 調布飛行場に立地している航空機使用事業者や整備事業者は、飛行場の地域の雇用創出や産業育成にも寄与するものである。地域と共生していくことに加えて、「共に栄えていく」という側面も加味したほうが良いのではないかな。
- 例えば20年後の将来に向けて、安全性や静粛性が従来の機体以上に確保されることが前提ではあるが、周辺住民の理解を得ながら、近くにお住いの方が活用でき利便性が向上するような新たなテクノロジーの導入についても検討の余地があるのではないかな。
- 整備に際して、コンピューター空港としての機能や地域航空の拠点といった、調布飛行場の設置目的が円滑に果たされるよう、改めて利用ルールの検討を行う必要があるのではないかな。